

冬芽(ふゆめ)

葉の落ちた冬に樹木を見ると、目につくようになるのが冬芽です。冬芽は晩夏から秋に形成され、休眠・越冬して、春に伸びて葉や花になります。

そして冬芽の観察をおもしろくさせてくれるのが葉痕(ようこん)です。葉痕は葉のついていた痕で、その断面にある斑点の数や並び方が樹種によって異なります。

冬芽と葉痕から、人や動物の顔を連想すると、愉快的表情のものが多くあります。よく観察すると、何でこんな風に並んで見えるのか本当に不思議です。樹木によってその表情はさまざまです。



オニグルミの冬芽と葉痕「羊の顔のよう…？」

特別展示

○森と生き物を描く ~平田美紗子イラスト展~
期間:12月3日(土)~平成24年3月25日(日)

第14回ブナセンター講座

○自然を描く心と技
講師:平田美紗子さん(静岡森林管理署)
日時:12月11日(日) 午後1時30分~午後3時

※この広報紙は再生紙を使用しています



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています

皆様のご支援、ありがとうございます。

豪雨災害による支援

多くの皆様から、義援金やお見舞いをいただいております。
誠にありがとうございます。いただきました支援金については
災害復旧対策などのため有効に使わせていただきます。

義援金 7,858,217円 (176件)
見舞金 5,961,983円 (46件)
12月5日現在